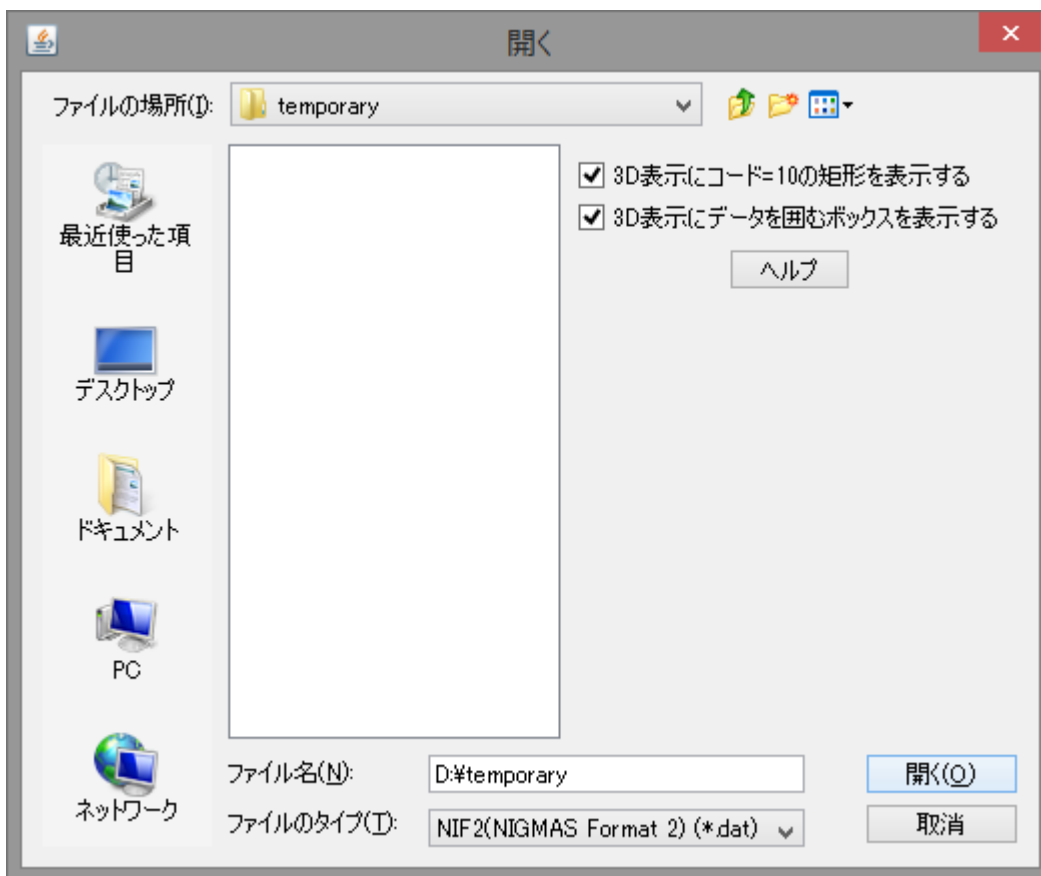


## 1. 開く NIF2(.dat)

メニュー「ファイル/開く NIF2(.dat)」で、複数の.dat を選択して、同時に開けるようにしました。

また、オプション「3D 表示に図面の矩形とデータの範囲を表示する」を



### 3D 表示にコード=10の矩形を表示する

NIF2(.dat)に記録されているコード=10の

図面の左下、右上座標

を参照し、「3D 表示パネル」の Z=-999.0 の位置に四角形を表示します。

	0	10	20	30	40	50	60	70
1	10	0	0	0	-31000.000	41090.000	-23500.000	52720.000↓
2	14	0	0	0	25000.000	25000.000↓		
3	11103	0	0		-29421.910	42236.920↓		
4	21103	0	0		-29418.860	42226.280↓		
5	21103	0	0		-29416.800	42212.800↓		

上図の例では、1行目の最初の数字「10」がコードで、1行目の5番目の値からが範囲です。

### 3D 表示にデータを囲むボックスを表示する

NIF2(.dat)に記録されている線分やポリゴンを囲むボックスを表示します。3次元のデータがない場合、四角形の表示になります。ボックスは「図面の左下、右下座標

NIF2(.dat)に記録されている

コード=10 図面の左下、右上座標

について「3D表示」では、白色のまま、

線分やポリゴンを囲む矩形の「3D表示」での色は白色から黄色に変更しました。

どちらもピッキングすることはできません。